

基本構想

▼将来像

石狩市には、豊かな自然環境や石狩湾新港、農漁業、多彩な観光資源などの地域資源があるほか、今後は団塊の世代といわれる壮年層の多くが第一戦を退き、豊富な知識と経験を持って地域に帰ってきます。

本総合計画の将来像は、まちづくりのすべての分野で「自然」を守り活かしていくことを基本に、「人」をまちづくりの中心に据えて、市民の活躍により活力ある地域の将来を形づくることを目指し、「あい風と人間が輝く活力のまち・石狩」と決めました。

▼基本理念

本総合計画では、具体的なまちづくりの取り組みすべてに共通する理念を定めました。

【自立】自治体としての存立基盤を確かなものにする

【協働】市民、企業・団体、市役所がそれぞれの役割を果たしながら力を合わせる

【共生】人と自然、都市と農山漁村が互いに補完し、価値を高める

石狩の豊かな自然を表すシンボル

あい風

あい風とは、石狩湾沿岸に四季折々の幸の訪れを告げ、さまざまな恵みをもたらす穏やかな北よりの風のことです。石狩・厚田・浜益の漁民の間では、海面を穏やかにする順風として歓迎され、幸せを運ぶ風と言われてきました。

まちづくりの体系

将来像

「あい風と人間が輝く
活力のまち・石狩」

5つのめざすまちのテーマ

- ①「安全・安心・快適なまち」
- ②「健康でしあわせに暮らすまち」
- ③「元気で活力あるまち」
- ④「豊かな自然を守り育て活かすまち」
- ⑤「心豊かに学びいきいきと活動するまち」

基本理念

自立 協働 共生
健全な行財政運営 一人ひとりが主人公 地域の輝きを大切に

テーマ2

健康でしあわせに暮らすまち

市民が互いに支え合い、安心して子どもを産み育てられる環境や生涯にわたって生きがいを感じ、健康でしあわせに暮らすことができます。

テーマ1

安全・安心・快適なまち

自然災害や社会的犯罪に強く、暮らしを支える基盤が整備され、すべての市民が安全・安心・快適な生活を送ることができます。

5つのめざす まちのテーマ

将来像の効果的な実現に向けてバランスのとれた施策を展開するため「5つのめざすまちのテーマ」を設定します。

テーマ5

心豊かに学びいきいきと活動するまち

子どもたちはのびのびと学び、市民のだれもが自主的・主体的に学ぶことにより創造性を高めるなど、心豊かに学びいきいきと活動します。

テーマ4

豊かな自然を守り育て活かすまち

市民の環境保全に対する関心を高めるとともに、省資源・省エネルギーなどの循環型社会の構築を進め、豊かな自然を守り育て活かします。

テーマ3

元気で活力あるまち

石狩湾新港の港湾機能、農水産業や観光などの地域資源を活かしながら新たな地域価値を生み出すことにより経済的自立性を高めます。

「重点プロジェクト」

本市の特性である豊かな自然環境・資源を活かし、事業の効果が市全体に及び施策群を重点プロジェクトと位置付け、重点的に推進します。

重点プロジェクト 1

「ひと・まち・げんきプロジェクト」

子どもを安心して産み育てることができる仕組みづくりや、高齢者が一層地域社会で活躍できる機会の創出など、年齢を問わず元気で豊かな心を持って生活できるまちづくりを進めます。

重点プロジェクト 2

「環境都市創出プロジェクト」

市民の共有財産である海・山・川などの自然を市民参加のもとで積極的に保全、再生、利用・活用することにより本市の魅力を一層高め、環境にやさしく活力あるまちづくりを進めます。

重点プロジェクト 3

「観光立市プロジェクト」

豊富な観光資源のネットワーク化、農漁業との連携による「食」と豊かな自然を活かした「体験」にスポットをあてた観光を進め、観光を原動力とした地域の活性化を進めます。

重点プロジェクト 4

「交流のいしずえプロジェクト」

南北67kmの地理的条件を踏まえ、市内地域の連携強化や一体感醸成のための幹線道路や公共交通の充実を図り、人、産業、歴史、文化など多様な交流を進めます。

重点プロジェクト 5

「石狩湾新港地域パワーアッププロジェクト」

石狩湾新港を利用者にとって魅力ある物流拠点とするとともに、石狩湾新港とその背後の流通工業地区の機能強化を進めます。

「土地利用の方針」

まちの持続的発展を見据え、一体的で均衡ある土地利用を推進します。既存の土地利用を基本に、それぞれの特徴や地域資源を活かしたまちづくりを進めます。

戦略計画

【成果指標の一例】

施策名：「保健・医療の充実」

指標の名称	平成17年度 (実績)	平成23年度 (目標)
生活習慣病予防健診等健康診査を定期的(年1回)に受けている人の割合	41.1%	↗
乳幼児健康診査に満足している保護者の割合	66.9%	80.0%
朝食を欠食する人の割合(20代から30代)	25%※	15%以下

※平成14年度実績

目標を「↗」のような矢印で示しているものは、目標数値の増加や減少を目指すことを表します。

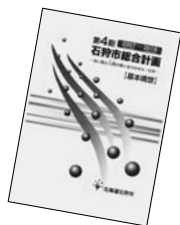
戦略計画は、将来像を実現するため、基本構想で定めた各テーマなどに基づき具体的な施策や、今後10年間の財政見込とそこで想定される主な事業を明記しています。それぞれの具体的な施策は、「施策の目的」「現状と課題」「施策の体系」「施策の内容」「成果指標」「協働の指針」「基本事業」で構成しています。

石狩市の総合計画としては、初めて「成果指標」(目標数値の設定)と「協働の指針」を明確に位置付けました。

▼財政見込と想定事業

【協働の指針の一例】

◎市民 ◆病気を予防するための生活習慣の改善 ◆症状に応じた医療機関の利用(かかりつけの医者を持ちます)	◎地域・事業者 ◆安全で質の高い医療の提供 ◆医療機関相互の連携による効果的な医療の提供
◎国・道 ◆高度先進医療や特殊医療機能を確保し、良質な医療の効率的な充実 ◆救急医療体制の充実 ◆感染症、難病、精神医療対策の充実 ◆血液、臓器移植対策の推進 ◆医薬品などの有効性と安全性の確保	◎市 ◆市民の健康づくり活動の支援 ◆医療体制を確保し、医療サービスの地域格差解消のための仕組みづくり ◆救急医療体制の充実



第4期石狩市総合計画は、4月中旬から市役所1階情報公開コーナー、3階企画調整課、厚田支所、浜益支所、市民図書館本館・各分館、市ホームページでご覧いただけます。

戦略計画で明記している「財政見込」は、恒常的な赤字体質からの脱却を目指し作成した財政再建計画との整合を図っています。

「想定している事業」は、財政見込の中で計画期間内に実施を想定している主な事業を位置付けています。ただし、実際に事業を行うかどうかは、その年の財政状況を踏まえ、緊急度や優先度を考慮して毎年度決定していくこととなります。